



国立極地研究所と昭和記念公園を歩く

南極・北極科学館

・**南極の特徴**・・・海洋に囲まれた大陸で、標高が高く平均標高は2000m、面積1390万K²m(日本の37倍)定住者無し
夏は、一日中明るく、冬は一日中暗い。季節は北極と逆
南極点平均気温-49.4℃最低気温-89.2℃。昭和基地平均気温 10.4℃

・**北極の特徴**・・・中心部は大陸に囲まれた海洋(北極海)で浅くて広い大陸棚年間を通して存在する海氷。面積 170 万K²m、大陸や島には、多くの定住者がいる。夏は一日中明るい白夜、冬は一日中暗い極夜、平均-35℃

★ 南極昭和基地の観測 ★



定常/気象観測:地上観測、高層気象観測、オゾン観測および日射放射観測等を継続しました。



定常/海洋物理・化学観測:CTD採水システム等により南極底層水の観測を実施しました。



モニタリング観測:5次隊から継続しているペンギンの個体数調査等を実施しました。



一般研究観測:電波望遠鏡による天文観測に向け、電力供給システム等を設置しました。



一般研究観測:「うねり」による定着氷崩壊メカニズム解明に向け、氷上に波浪ブイを設置しました。



一般研究観測:「しらせ」で大気中のCO₂とO₂の濃度の高精度自動連続観測を開始しました。



一般研究観測:昭和基地で大気中の物質循環に関する観測を始めました。



設営/建築・土木:夏期隊員宿舎は、2階まで工事が完了しました。



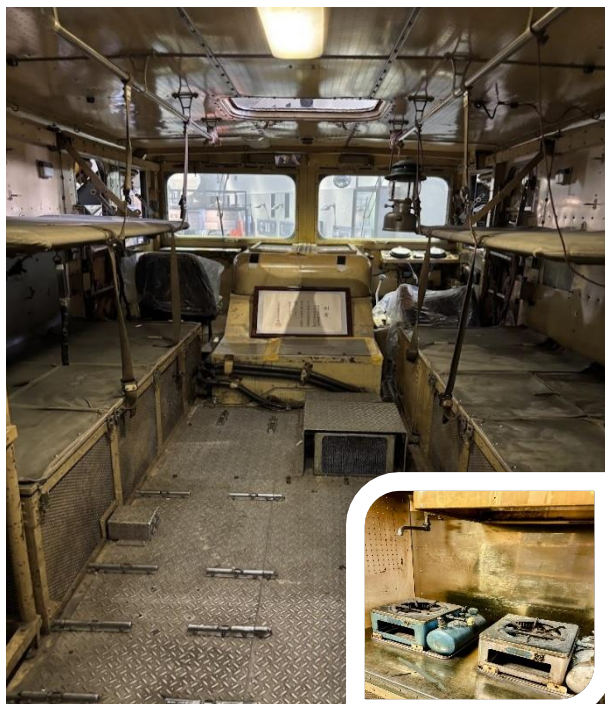
設営/広報:観測隊ブログの発信や南極に派遣した教員による現地からの授業等を行いました。

南極は地球環境を探る窓となっています。1980 年代南極大陸上空の、春先のオゾンが、減っているのを昭和基地の観測で初めて見つけました。有害な紫外線をカットする役割が減り生物に悪影響を与える心配があります。



南極で最大の魚ライギョダマシ全長 175 cm

その昔、南極の氷で淹れた、コーヒーを飲んだことがあります。埃臭いというか、美味しいとは言えません。お値段通常の4倍でした。

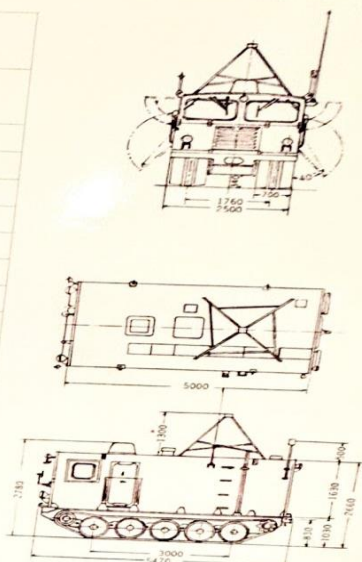


雪上車内部・入り口にガス台

KD604 大型雪上車

型式または名称	KD604
製造年度	1967 年
製造会社名称	(株) 小松製作所
使用目的	南極点往復調査旅行
寸法	全 長 5,470mm
	全 幅 2,500mm
	全 高 2,660mm
法	最低地上高 340mm
	履 帯 幅 700mm
	接 地 長 3,000mm
接地圧	空車時 0.18kg/cm ²
重	車両重量 7,400kg
	標準積載量 500kg(乗員 4 人)
量	車両総重量 7,900kg
	最高速度 30km/h(舗装路)
	20km/h(圧雪路)
性	常用速度 5~7km/h(牽引圧雪路)
	牽引能力 2t 約 4 台
	最小旋回半径 7m
能	登攀能力 30 度(土壌地)
	耐寒性能 -60℃

名称	型式	いすゞ DA640T.P.G.
機		水冷 4 サイクル ディーゼル
関	最高出力	平地で 140 PS/2,400 rpm
		高地で 105 PS/2,400 rpm
	気 筒 数	6
	総排気量	6.4 ℓ
	燃 費	4 ℓ/km (=250m/ℓ)
	ク ラ ッ チ	乾燥単板式
	変 速 機	前進 5 段 後退 1 段
	推 進 軸	1 軸推進
	減 速 機	1 段減速
	操 向 機	平歯車二重差動機式
走	行 装 置	全装軌式 前方誘導・後方駆動
		大型転輪式 片側 5 輪複列
	履 帯	リンクチェーン接続鋼板成形トラックバー
	架 装 置	5 脚 独立懸架 トーションバー式
	車 フ レーム	上方開放箱型保温式
	車 室	キャブオーバー肋骨構造 断熱密閉保温
	居 住	座席 1 人 × 4
その他		寝台 4
		調理室 造水器





北極海では、温暖化の影響で北海道の面積に匹敵する氷が、毎年溶け、夏はロシア沿岸を通過して欧州と東アジアを船で往来できるようになった。

航路は、インド洋を回るより4割ほど短く、海賊が出没する危険が少ない。

北極海航路は「21世紀のスエズ運河」となると言われている。

温暖化が極めて早い、北極海を観測する総建造費335億円を投じて、砕氷船が建造される。
(朝日新聞より)



科学館内には、直径4mのドーム型のオーロラシアターがあり、リクライニング

シートでクラシックのBGMが流れ眠気を誘います。

昭和記念公園

昭和天皇御在位50年記念事業の一環として、米軍の立川飛行場跡地に作られた総面積180haの国営公園です。

昭和58年10月26日第一期開園(70ha)

立川市と昭島市にまたがり『緑の回復と人間性の向上』をテーマにしている



高松口から入口ゲートまで 10 分程歩きます。イチヨウ並木には、銀杏が
落ち、存在感の強いこと。



花に癒されてきました。

6 年生 小山久仁子

